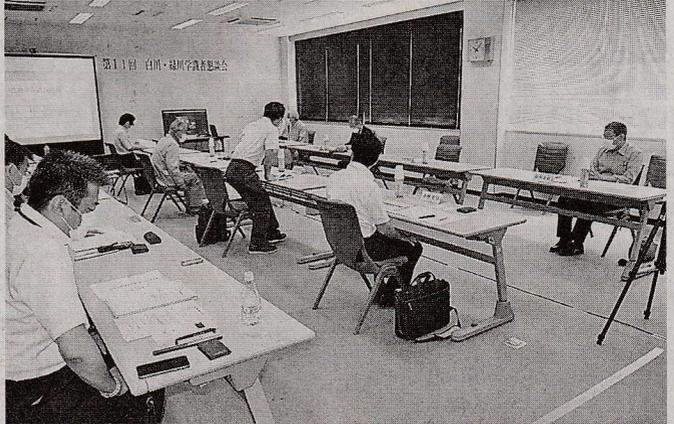


国営立野ダム事業などについて議論した白川・緑川
学識者懇談会

= 5日、熊本市東区の国交省熊本河川国道事務所



立野ダム事業費243億円増

2020
6.6熊日
国交省 熊本地震など影響

国土交通省立野ダム
工事事務所は5日、白
川上流に建設中の国営
立野ダム（南阿蘇村、
大津町）の総事業費が
これまでの約91.7億
円から、約24.3億円
増の約116.0億円に
膨らむことを明らかに
した。

熊本市東区の国交省

熊本河川国道事務所
で開かれた白川・緑川学
識者懇談会（委員長・
小林一郎熊本大工学部
特任教授、9人）で説
明した。

立野ダム工事事務所
によると、事業費増
加の要因は▽公共工
事の資材や労務単価の
上昇、消費税増など1

1.4億円▽熊本地震
で被害を受けた工用
道路復旧など10.8
億円▽基礎掘削施工
費の変更など26億円。一
方、関連工事の変更な
どで5億円を削減し
た。

同ダムは1983年
に事業着手。2018
年8月に本体着工し、

事業費ベースの事業進
捗は19年度末時点で
62%。同事務所は、今
年秋にもダム本体のコ
ンクリート打設を始め
る計画も明らかにし
た。

懇談会では、ダムサ
イト近くに生息するク
マタカなどの環境調査
費が2億円増となった
ことについて、委員か
ら「費用に見合った調
査結果を示すべきだ」
などの指摘が相次いだ
が、ダム事業は継続と
する方針が了承され

た。
同ダムは下流の熊本
市などの洪水被害防止
を目的とする治水専用
ダム。堤の高さは約90以
長さ約200以、総
貯水容量約1千万立方
以。22年度中の完成を
目指している。

（隅川俊彦）